

巻 頭 言



熊本県知事 蒲島 郁夫

世界とつながる新たな熊本の創造に向けて

本県は、2016年4月に発生した熊本地震により、県内各地で甚大な被害を受けました。多くの県民が被災し避難所生活を強いられる中、国内外からのご支援、ご声援は、県民が被災を乗り越え立ち上がるうえで、大きな励みとなりました。この場をお借りして、改めて厚く御礼申し上げます。

今回の未曾有の災害を経験し、改めて、災害に強く、安全安心で、夢や誇りがあり、経済的に安定した熊本を創っていかねばならないという想いを強くしました。そこで、「災害に強く、誇れる資産（たから）を次代につなぎ、夢にあふれる新たな熊本」を目指し、2016年8月に「復旧・復興プラン」を策定し、今後4年間の復旧・復興の方向性と熊本の将来への展望を示しました。そして、その取り組みの1つとして、「世界とつながる新たな熊本の創造～世界に挑み、世界を拓く～」を掲げています。

本県では、これまでも姉妹友好提携を結んでいる地域などと良好な関係を継続しながら、成長を続けるアジアの活力を取り込むため、アジアの市場に打って出る戦略を展開してきました。例えば、営業部長・くまモンを筆頭に海外に向けた熊本の情報発信、県内最大の国際貿易港である八代港への大型クルーズ船の誘致や、阿蘇くまもと空港と台湾・高雄や香港、ソウルを結ぶ国際定期便の就航などによる海外からの観光客受け入れ環境の整備などです。その成果もあり、熊本県での在留外国人および海外からの旅行客は増加傾向にあり、2015年度の外国人宿泊客は10年前の2倍の64万3,831人と過去最高となりました。さらに最近では、インドネシア・バリ州と国際交流促進に係る覚書（MOU）を締結し、また、本年1月には、台湾・高雄市とMOUを格上げした友好交流協定を結ぶなど、新たな関係づくりにも取り組んでいるところです。

熊本は2016年4月に起こった地震によって海外からも被災地として注目されることになりました。これをチャンスに変えるべく、復旧の状況や震災直後からの支援に対する感謝の気持ちを積極的に発信するとともに、台湾、香港、上海、シンガポールなどから復興イベントの提案をいただいて海外と連携した熊本復興プロモーションを展開するなど、海外に向けた取り組みを加速させています。

2019年には、本県で女子ハンドボール世界選手権大会やラグビーワールドカップが開催され、今後ますます熊本が国際的に注目される機会がやってきます。これを世界とつながる更なる契機として、観光客誘致や県内企業の販路拡大支援など積極的な取り組みを展開し、海外との連携を強化して「世界とつながる新たな熊本の創造」を推進していきたいと考えています。